堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター 平成31年（令和元年）度事業報告

資料 4-1

（１）自立訓練事業

① 自立訓練事業利用者の状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | |
|  | | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 利用契約者数 | | 42 | 57 | 99 | 43 | 69 | 112 |
| うち | 新規利用（契約） | 18 | 30 | 48 | 23 | 45 | 51 |
| 退所（契約解除） | 24 | 27 | 51 | 33 | 49 | 46 |
| 延利用件数 | | 2,413 | 3,702 | 6,115 | 2,112 | 3,560 | 5,672 |

② 新規利用者の契約に至ったきっかけ

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令和元年度 | | | 平成30年度 | | |
|  | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 | 機能訓練 | 生活訓練 | 合計 |
| 医療機関から紹介 | 8 | 21 | 29 | 12 | 18 | 30 |
| 他の事業所から紹介 | 2 | 1 | 3 | 3 | 0 | 3 |
| 市・相談機関から紹介 | 3 | 1 | 4 | 3 | 1 | 4 |
| 本人・家族から相談 | 5 | 7 | 12 | 2 | 4 | 6 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 合計 | 18 | 30 | 48 | 22 | 23 | 45 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | 他の事業所を利用 | 就職(復職)/就学 | 入院 | 入所 | 在宅 | その他 | 合計 |
| 令和元年度 | 機能訓練 | 6 | 5 | 1 | 0 | 8 | 4 | 24 |
| 生活訓練 | 6 | 14 | 0 | 0 | 7 | 0 | 27 |
| 合計 | 12 | 19 | 1 | 0 | 15 | 4 | 51 |
| 平成30年度 | 機能訓練 | 7 | 5 | 0 | 0 | 4 | 0 | 16 |
| 生活訓練 | 9 | 12 | 1 | 0 | 9 | 2 | 33 |
| 合計 | 16 | 17 | 1 | 0 | 13 | 2 | 49 |

③ 退所者の動向

令和元年度退所者動向（「他の事業所利用」内訳）

機能訓練6（職業訓練校 1、就労継続B型事業所 2、生活介護事業所 1、介護保険事業所 2）

生活訓練6（就労移行事業所 1、就労継続A型事業所 2、就労継続B型事業所 1、介護保険通所事業所 ２）

④利用当事者・家族支援

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 家族懇談会 | ６ | ５ | ５ | ７ | ６ | ７ | ５ | ５ | ４ | － | ８ | ４ | 62 |
| 学習懇談会  （OB交流会） | － | － | 19 | － | － | － | 24 | － | － | 57 | － | － | 100 |

（２）支援普及事業

① 相談支援の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 令和元年度 | 平成30年度 |
| 新規実人数 | 203 | 144 |
| 継続実人数 | 525 | 377 |
| 実人数合計 | 728 | 521 |
| 延相談件数 | 2,544 | 2,188 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談者内訳 | 令和元年度 | 平成30年度 |
| 本人 | 333 | 436 |
| 家族 | 483 | 412 |
| 行政関係 | 336 | 225 |
| 医療関係 | 630 | 667 |
| 福祉関係 | 626 | 347 |
| 教育関係 | 5 | 7 |
| 就労関係 | 65 | 55 |
| その他 | 66 | 39 |
| 合計 | 2,544 | 2,188 |

② 研修会・勉強会開催の状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業　支援普及研修会 | | |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 6月5日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第１回研修会  ｢事例から学ぶ高次脳機能障害のある方の就労支援｣ | 74 |
| 8月21日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第２回研修会  ｢脳損傷による通過症候群への対応と連携について｣ | 55 |
| 11月10日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業 第３回研修会  ぜひ知っておきたい『脳卒中のリハビリテーション 』 | 85 |
| 2月5日 | 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業　第４回研修会  「高次脳機能障害にも活かせる認知症の地域支援を知ろう」 | 68 |
| 出張勉強会 | | |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 5月15日 | ピュアあすなろ出張勉強会 「高齢化する障害者の二次障害の予防について」 | 14 |
| 8月30日 | サンガーデン府中　第１回 出張勉強会 「障害福祉サービスと介護保険サービスの連携」 | 17 |
| 9月25日 | サンガーデン府中　第２回 出張勉強会 「高次脳機能障害者の自動車運転」 | 13 |
| 10月20日 | 生活協同組合エスコープ大阪　研修会（出張勉強会）　 「高次脳機能障害の特徴と対応」 | 101 |
| 10月23日 | サンガーデン府中　第３回 出張勉強会 「記憶と注意の認知リハビリテーションについて」 | 13 |
| 10月28日 | 森のキッチン（社会福祉法人コスモス）出張勉強会 「高次脳機能障害とは」 | 11 |
| 11月20日 | サンガーデン府中　第４回 出張勉強会 「高次脳機能障害者の社会参加支援について ～就労支援を中心に～」 | 13 |
| 12月18日 | サンガーデン府中　第５回 出張勉強会 「片麻痺者の退院後のリハビリテーションについて」 | 12 |
| 1月30日 | 堺あすなろ園　出張勉強会 「高次脳機能障害者支援と腰痛体操」 | 26 |

研修会・勉強会述べ参加者数　502名

③ 視察・研修の受入れ（他機関からの依頼対応）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 開催内容 | 参加者数 |
| 4月18日 | ワークショップフラット（和歌山県）施設見学 | 4 |
| 5月31日 | 大阪医療技術専門学校施設見学・事業説明 | 9 |
| 8月5日 | JFE商事サービス株式会社（本社）企画部視察 | 2 |
| 8月8日 | なやクリニック職員（ＰＳＷ）実地研修 | 1 |
| 8月22日 | 尼崎市立障害者福祉センター職員（ＰＴ）実地研修 | 2 |
| 8月28日 | 堺市職員人権研修（高次脳機能障害の理解・施設説明） | 9 |
| 8月27日 | 石川県リハビリテーションセンター（ＯＴ）施設見学 | 2 |
| 10月6日 | 第1回　大阪高次脳機能障がいリハビリテーション講習会 「これが私の暮らし方～高次脳機能障がいとともに～」 | 263 |
| 11月21日 | 指定自動車教習所職員講習「第1回　副管理者集合講習」 「高次脳機能障がいの方の自動車運転」 | 56 |
| 11月22日 | 指定自動車教習所職員講習「第1回　副管理者集合講習」 「高次脳機能障がいの方の自動車運転」 | 57 |
| 12月10・17日 | 大阪府高次脳機能障がい地域支援者養成研修施設体験実習 | 4 |
| 12月12日 | 社会福祉法人麦の会　施設職員実地研修 | 3 |
| 1月28日 | 社会福祉法人麦の会　施設職員実地研修 | 3 |
| 2月５・7日 | 仙台市障害者総合支援センター職員実地研修 | 2 |

視察・研修受入れ述べ人数　154名（417名）

④ 自動車運転技能評価の実施状況

＜堺市＞実施者数　21名　（データについては大阪府事業と統合）

⑥ ネットワーク構築（各区自立支援協議会等への参加状況）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 市・各区自立支援協議会 | 3 | 5 | 2 | 4 | 1 | 5 | 4 | 4 | 5 | 3 | 3 | 1 | 40 |
| 府コーディネーター会議 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 22 |
| 医療機関との会議等 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 | 1 | 3 | 2 | 1 | 22 |
| 事業所との会議等 | 2 | 3 | 3 | 5 | 1 | 1 | 4 | 6 | 2 | 3 | 4 | 1 | 35 |
| その他 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 3 | 2 | 4 | 3 | 1 | 2 | 0 | 24 |
| 合計 | 13 | 11 | 8 | 15 | 8 | 12 | 14 | 20 | 13 | 12 | 13 | 4 | 143 |

（３）　目標設定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指標 | 目標 | 結果 |
| 自立訓練事業延べ利用回数（稼働率） | 6,480回(90%) | 6,115回(85.８%) |
| 自立訓練事業利用者満足度（退所者） | 85％以上 | 98.0%（48/49） |
| 高次脳機能障害者等への相談支援延件数 | 2,400件 | 2,544件 |
| 研修会・勉強会の参加者数 | 600人 | 502人 |

（４）総括

自立訓練事業については、平成31年度（令和元年度）においては制度の改正や定員の変更などはなく、30年度と同様の体制にてリハビリテーションサービスを実施した。訓練の利用開始にあたっては、医療機関入院中から相談のあったケースについては医療機関を訪問し退院前カンファレンスを実施した。また、既にサービスを提供している事業者との引継ぎのための支援者会議を実施した。

機能訓練では、令和元年度新規利用者18名を含む42名に対して2,413回の訓練を提供した。新規利用者18名の内8名が医療機関からの紹介、5名が本人・家族からの相談となっており、医療機関から介護保険などの他の社会資源につながった後、一定のリハビリテーションを受けたのち、社会参加に向けての個別の訓練を希望する方などへのリハビリテーションサービスを行った。

　生活訓練では、令和元年度新規利用者30名を含む57名に対して3,702回の訓練を提供した。新規利用者30名の内21名が医療機関からの紹介となっており、退院後からの継続したリハビリテーションサービスの提供が行えた。身体障害を伴わない方へ高次脳機能障害の継続したリハビリテーションの必要性について、医療機関のセラピストからの提案が多くあった。これは市内の医療機関との連携が行えたことにより、仕事や地域生活に戻るにあたり、自身の障害を理解し周囲にも理解してもらえるような準備を行うための支援が重要であると認識された結果と考えられる。

　訪問訓練では引き続き、単独通所のための通所訓練を実施し、重度の記憶障害がありながらも繰り返しエラーレスでの通所訓練をおこなうことで単独通所が可能となっている。また、就労先への訪問を積極的に行い、復職・新規就労の支援に取り組んだ。

　退所者は機能訓練24名、生活訓練27名の合計51名で、そのうち4名は、機能訓練の利用期間終了後、就労や就学などの社会生活に戻るにあたり社会生活能力の向上を目的として生活訓練にサービス種別を変更したものであり、実退所者数は47名であった。利用終了後の進路については、「他の事業所利用」が12名、「就労（復職）／就学」が19名、「入院」が1名、「在宅」が15名であった。「在宅」となった方々のうち、高齢の方々については地域生活において趣味活動などに取組まれている。また、ボランティア活動への参加などを希望される方もあった一方、他のサービスなどにつながらないケースもあった。いずれの場合においても、退所後も仕事や生活上の課題や、社会保障制度の利用に関する相談支援を継続して実施している。

その他には、家族支援として毎月家族懇談会を11回開催し、家族ならではの悩みを共有するとともに、訓練を終了した利用者の家族の話を聞くことにより不安や孤立感軽減への取り組みを行った。また、家族懇談会において高次脳機能障害やリハビリテーションの意義などの理解を深めることを目的として、各専門職より「ミニレクチャー」を実施した。加えて、退所者と利用者の当事者・家族との交流機会を設けることで、退所者の計測支援と利用者の訓練目標設定や意欲向上を目的とした学習懇談会を6月、10月、1月の計3回実施し計100名の参加をいただいた。3月に4回目の学習懇談会として「女性交流会」を予定していたが、新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため実施できなかった。6月には「妻の会」、1月には「妻・夫の会」「親の会」を実施し、同じ立場の家族同士が集うことで、より共感しあえる場となり「また開催してほしい」との感想を頂いた。また、10月には「失語症の会」を実施し、あわせて堺・高石消防本部の協力を得て「Net119緊急通報システム登録会」を実施した。これは音声での119番通報が困難な方が円滑に消防への通報を行えるようにするシステムで、一部の失語症の方についても利用が可能であるとともに、消防局に失語症について知っていただく機会にもなったと考える。

　高次脳機能障害支援普及事業のうち相談支援における新規相談実人数は203名と30年度を大きく上回った。新規と継続を合わせた実相談人数は728名で、延相談件数は2,544件となった。新規相談人数の増加については、他市からの相談や、医療・福祉関係機関からの情報提供依頼での相談が増えており、30年度に実施した医療機関や包括支援センターなどへのリーフレットの配布や出張勉強会の案内により、高次脳機能障害支援拠点が再認識されたことも一因であると考えられる。

　また、研修会においては、関係団体、支援機関向け研修会を6月5日、8月21日、2月5日の計3回、当事者・ご家族・市民向け研修を11月10日に開催し、延282名の参加を頂いた。8月21日の研修会では「脳損傷による通過症候群への対応と連携について」をテーマに、日頃より連携している精神科病院の作業療法士・精神保健福祉士より当センターと連携して支援した事例について講演いただいた。参加者からの質疑も多く寄せられ、精神科との連携についての情報提供の機会となった。11月10日の市民向けの講演会では、類似したテーマでの講演会が同時期に大阪府近隣でいくつか続いて開催されたためか、参加者は例年よりも少なかったが、講演会での質疑応答が積極的に行われ、また参加者からのアンケートにおいても高い評価を頂いた。一般市民の参加が少なく、広報の方法が課題と考えられる。その他の高次脳機能障害に対する啓発活動としては、今年度も引き続き出張型勉強会の案内を行い5事業所延9回の開催要請を受け延220名の参加を頂いた。なお、他に2事業所より開催要請があり3月の開催を予定していたが、新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため中止となった。令和元年度に生活リハビリテーションセンターが主催した支援普及研修会及び出張勉強会の延参加者数は502名となった。

　その他には、市内の高次脳機能障害支援体制の強化を目的の一つとした生活リハビリテーションセンター運営委員会を2回実施し、31年度の取り組み項目や就労継続状況などについての議論を行った。

　「目標設定と事業結果」については、自立訓練事業延利用回数は、機能訓練2,413回、生活訓練3,702回の合計6,115回で年度目標の6,480件を下回る結果となった。3月は新型コロナウィルス感染症対策として、自治体からの外出自粛要請やプラザ内のスポーツ施設利用制限の影響もあり、通所を控えたいとの利用者の希望から稼働率が大きく低下した。この結果、開所日数239日からの稼働率は85.8％と目標をやや下回った。

　利用者満足度については、今年度も利用終了時に当事者及び同居家族のそれぞれにアンケート調査を行った。今年度利用終了者は機能訓練24名、生活訓練27名の合計51名でそのうちサービス種別変更が4名あることから、実質退所者47名に対して利用者28名、利用者家族21名から回答を得ることができた。アンケート回収率は59.6％で、昨年度（69.4％）を下回っており、体調不良や精神面での不調から長期間欠席が続いたのち利用中止になった方などがあったことが一因と考えられる。アンケート結果においては「サービス利用に満足している」という設問に対して「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が98.0％となった。

　　研修会・勉強会の参加者数は、支援普及研修会4回延参加者数282名、出張勉強会9回延220名を合わせて502名の参加者となった。3月に実施を予定していた2回の出張勉強会の参加予定者が90名程度であったことから、目標にほど近い参加者数を見込んでいたが、新型コロナウィルス感染症の影響から目標の600名を大きく下回る結果となった。

　今年度は特に家族において家族懇談会への反響が大きく、この影響もあってかアンケート調査における満足度が100％と非常に高い評価を頂けたことは良かった。しかしながら、研修会や相談支援においての課題も見え、次年度においては、高次脳機能障害支援及事業の一つである市民向けの講演会の参加者数の確保のため、広報の方法について再検討を行う必要がある。また、相談支援においてはより細やかな対応が行えるよう、市民目線に立ち時間軸と他機関との連携を意識した支援を行うとともに、自立訓練の新規利用者獲得に向けて市内医療機関への働きかけを行っていきたい。